



子どもたちに育まれているもの

校長 生田目 治善

近年多くの学校では、今までの常識を疑いながら校則や制服等、様々な視点・立場から見直しがされていることと思います。

本校には制服や校則（一般の学校で言うもの）はありません。ただし、会員（生徒会会員：全校生徒）が気持ち良く学校生活を送るための「心得」はあります。その「心得」は担当係長（生徒）が会員と対話をしながら日常的に見直しを図っています。ここでの

教師の出番は助言程度です。最近では生活係長が中心となり、情報端末機器の使い方について自分たちで課題を解決するために「心得」なるものを作成しました。会員に理解と浸透を図るなど主体的な取り組みがみられます。

このような生徒の主体的な取り組みは、担当係長を選出する選挙でも見られます。係長は全て立候補で、会員は複数の候補者の中から方針・施策等が書かれた紙面と演説で、自分が適任であると判断した候補者を自らの意志で選びます。

本校では長年「教科を通して学ぶとは何か」について授業研究を行っています。生徒たちのこのような振る舞いは、日々の授業が大きく関わり育まれてきたものと考えています。

是非とも多くの皆様方に、生徒たちが授業のなかで主体的に取り組む姿をご覧いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

静岡大学教育学部附属静岡中学校

令和4年度

教育研究協議会のご案内



「どのように学ぶか」を軸に、授業づくりをされていると感じました。授業観そのものの深さを感じさせられました！（県内公立中 教諭）

子どもが主体の授業であることで、主体的・対話的で深い学びができるのだと思いました。子どもたちの楽しそうに授業に参加している姿が印象的でした！（県内大学生）

＜申込方法＞

- 参加ご希望の方は右の二次元コードを読みとり、「申し込みサイト」(こくチーズプロ) に必要事項を入力の上、**10月7日(金)**までにお申し込みください。
- 「申し込みサイト」には本校HPに掲載されているリンクからも入れます。
- 事前連絡のない当日のご参加はご遠慮ください。



＜参加費＞ 無料

＜昼食＞ 弁当の販売は行いません。各自でご持参ください。

＜その他＞

- 駐車場は、数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 雨天の場合には、本校駐車場をご利用いただけません。近隣の有料駐車場をご利用ください。
- 今後の状況によって、開催方法等が変更になることがあります。その際は本校ホームページや、お申し込み時に登録いただいたメールでお知らせいたします。



研究書籍のご案内

対話が深める子どもの学び

—「教科ならではの文化」を味わう授業—

明治図書刊 本体価格2,200円

本書では、各教科が考える「教科ならではの文化」を味わう授業について、具体的な子どもの姿を通して提案します。本書に関するお問い合わせは、本校研修部まで。書店・オンライン書店等でもお求めできます。

研究主題

学びの自覚

—「ありたい自分」を思い描く子ども—

期 日 令和4年10月14日(金)

会 場 静岡大学教育学部附属静岡中学校

講演会 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

講 師 上智大学総合人間科学部教育学科

教授 奈須正裕先生

主 催 静岡大学教育学部附属静岡中学校

後 援 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会



〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1番86号

TEL 054-255-0137 FAX 054-252-7335

E-mail osizuchu@shizuoka.ac.jp

URL https://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shizuchu/

HPには、教育研究協議会のお知らせや、日頃の授業の様子など掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



▶ 日程

8:40	9:10	9:30	10:00	10:20	11:10	11:30	12:20	13:10	14:30	14:45	16:15
受付	全体発表	事前説明	準備	公開授業第1時	移動	公開授業第2時	昼食	教科別研究協議	移動	講演会	
			受付	全体発表	事前説明						
			10:00	10:20	10:40	11:10					

(受付について)

今年度は受付時間が教科によって異なります。以下のお時間に受付をお願いします。

受付① 8:40～9:10 第1時から参観の方 受付② 10:00～10:20 第2時から参観の方

▶ 公開授業 第1時 10:20～11:10

教科	学級	題材名	概要	授業者
国語	1年B組	トロッコ —「つながり」から考える—	なぜ、文学作品はわたしたちをこんなにも物語の世界に引き込み、心を動かすのでしょうか。二つの時の「つながり」を見いだそうとすることで、気づけば子どもたち自身も、良平とともに爽快感を感じたり、焦燥感に駆られたりするでしょう。一つの言葉と丁寧に向き合うことで、自分の読みを更新していく姿をご覧ください。	若林 卓
数学	1年D組	写真に潜む数学を探ろう	「写真を撮る」という日常によくある光景にはどのような数学が潜んでいるのだろうか。そこに潜む数量関係について、実験をもとに関係を調べた子どもたちが、表・式・グラフをもとに変化と対応をとらえていく姿をご覧ください。	西谷聡一郎
英語	3年B組	What's going on in the world now? —世界の今をSDGsから考える—	子どもたちが世界の今を自分ごととしてとらえ、英語を用いてそれぞれの行動宣言を伝え合う中で、英語のもつ世界の人々をつなぐ力を実感し、英語を用いたコミュニケーションの価値を見いだしてほしいと願います。	池田 卓弥

▶ 教科別研究協議

教科等	共同研究者 (静岡大学教育学部)	助言者	協力委員
国語	大塚 浩 坂口 京子	焼津市立焼津西小学校 高木 勝利	静岡市立清水第四中学校 藤田 伸浩
社会	西野 肇 佐藤 正志	国立教育政策研究所 磯山 恭子	沼津市立原中学校 丸山 真一
数学	松元新一郎 谷本 龍二	静岡市立西奈中学校 小山 浩明	静岡市立豊田中学校 中島 勇治 静岡市立袖師中学校 河守 淳太
理科	郡司 賀透 内山 秀樹	静岡県総合教育センター 遠山 一郎	焼津市立大富中学校 岡崎 太亮 静岡市立清水第三中学校 小谷 武士
音楽	後藤友香理 東屋敷尚子	国立教育政策研究所 河合 紳和	静岡市立清水飯田中学校 小林 真人
美術	芳賀 正之 川原崎知洋	静岡市教育センター 池田しのぶ	静岡市立長田西中学校 望月 理恵
保健体育	野津 一浩	静岡市立服織中学校 本山太一郎	長泉町立長泉中学校 長田 有樹
学校保健	鎌塚 優子	静岡市立東中学校 時森 美穂	静岡市立東源台小学校 苅谷 朋子
技術	鄭 基浩 室伏 春樹	静岡市立安東中学校 山本 信之	静岡市立大里中学校 武田健太郎
家庭	小清水貴子	裾野市立裾野南小学校 湯山小百合	富士市立吉原第二中学校 村瀬 悠夏
英語	矢野 淳 クレメンツ・ピーター	静岡市教育センター 笠井 真理	静岡市立美和小学校 池田衣莉子

▶ 公開授業 第2時 11:30～12:20

教科	学級	題材名	概要	授業者
国語	2年B組	走れメロス —王は何によって心を動かしたのか—	日本人ならば誰も一度は読んだことがあるといっても過言ではない「走れメロス」。真つすぐに生きるメロスを、王は、親友は、読者はどのように捉えているのでしょうか。王の心を動かしたものに注目することを通して、登場人物の抱く思いや生き方に迫る子どもたちの姿をご覧ください。	小野祐一郎
社会	1年A組	武士が権力を握ることができた決め手とは	平安から鎌倉時代にかけて政治の中心は、貴族から武士へと大きく変化していきます。時代の変化は子どもにとってはとらえづらいものです。複数の時代にまたがって題材を設定することで、子どもたちは自然と二つの時代を比較し、その変化についての学びを深めていくでしょう。	望月 慈希
数学	3年A組	相似な図形の論証	富士山やスカイツリー、東京タワーなど高さが高いものには、数学的に考察したくなる魅力があるだろう。日常でふと見上げるとそこには数学の世界が広がっている。これまで構築してきた図形の性質をもとに論証していく子どもの姿をご覧ください。	安濃 勇太
理科	2年A組	スイッチを入れると、豆電球の明るさが変わる不思議な回路	スイッチを入れると豆電球の明るさが変化する回路があります。そんな回路を目の当たりにした子どもは、明るさの変化を生み出した原因が気になることでしょう。子どもたちは科学的な探究を通して、その真相に迫ります。「電気を流せば電球は光る」という「当たり前」を科学のまなざしで見直していく子どもたちの姿にご期待下さい。	落合 哲也
音楽	3年B組	ポピュラー音楽の魅力 —デキシーランドジャズ『聖者の行進』—	ジャズは、わたしたちにとって身近なポピュラー音楽(ポップス)のルーツとなった音楽です。初期のジャズ音楽を味わい器楽演奏に挑戦することによって、ジャズならではの演奏表現やその楽しさを実感し、音や音楽と豊かに向き合っていく子どもたちの姿をご覧ください。	兵庫 廣多
美術	3年C組	mt design project —mtブランドの新しい価値を提案しよう—	色鮮やかなマスキングテープを展開するmtのデザイン企画を依頼された中学生デザイナーたち。魅力的な商品や企画を提案するため、依頼人の願いやユーザーの姿を意識しながら試行錯誤を繰り返し、よりよいデザインを追求する姿をご覧ください。	萩原 彰彦
学校保健 保健体育	1年C組	心ってなんだろう —自分の経験と心の働きから心の発達について考える—	「心って何だろう?」と問われたら、あなたならどのように答えますか。目に見えないものだからこそ、様々なとらえがあるでしょう。子どもたちが「心」を発達という視点から問い直したとき、どのように答えを見いだすのでしょうか。ぜひご覧ください。	勝野由志雄 小野 生吹
技術	2年D組	附中キャンプで活躍するカンテラの開発	本栖湖のテントサイトを照らしてくれるカンテラ。そこにもうひとつ工夫できないだろうか。「カンテラ」という技術を「附中キャンプ」という条件の中で分析し、作り手としての思いも大切にしながらよりよい製品を追求していきます。	松原 佑
家庭	2年C組	自分にとって「すてきな消費者」をめざそう	商品やサービスを購入するとき、あなたは何を大切にしていますか。子どもたちは自分の消費行動を振り返りながら、仲間と共に自分が考える「すてきな消費者」像を膨らめていきます。消費行動が多様化している時代だからこそ、子どもたちと豊かな意思に基づいた消費行動のあり方を考えてみませんか。	平林亜希子
英語	3年D組	These Are My Essentials —自分らしさがつまった自己紹介—	自分の大切なものについて語る時、心が弾みませんか。本題材では、自分の大切なものについて語る動画を作成します。英語表現の幅が広がっている3年生だからこそ見られる、妥協せず自分が好きなものについて存分に語る姿をご覧ください。	小池 智美